

## 第4回 石巻市行財政改革推進委員会 会議記録

日付：令和2年10月29日（木）

時間：18時00分～18時45分

場所：石巻市役所6階

議会第1・2委員会室

### 1 開会

### 2 委員長あいさつ

### 3 会議

進行は委員長が実施

#### (1) 行財政改革推進プラン2025案について

資料に基づき事務局から説明

#### 【質疑】

委員： 10ページ、財政効果が当初よりも少し良くなる見込みとお聞きした。その良くなる要素として、人件費のように厳しい算定をしたものと逆に効果が見えてきたものとの説明だったと思う。当初より効果が見えてきたものというのは、最初算定していなかったからか、最初算定していたよりも効果が見えてきたのか。

事務局： 今回、財政効果額が大きくなったのは、定員適正化計画と病院の改革プランの効果額が大きくなったことによる。前回までは、数値がはっきりしなかったため反映されていなかった。人件費は仮置きで5億置いていたが、より具体的な数値が入ったことによりこういった数値になった。

委員： 人件費は、震災後のベースではなく、震災前からやるべきだというのは、中でそういう話がでてきたということか。

事務局： 人件費については、以前のプランで削減を進めてきたが、震災によりマンパワーが不足したことにより人の数を増やしてきた。多くなっている令和2年度の現状から削減することは割と簡単で大きな数字が出易いが、前に行革を進めてきた時の数字から更に踏込んだ部分が本当の行革になる。財政効果額は少なくなるが、見立てとしてはそうした方が正しいのではないかということで今回はこういう形にした。

事務局： プランの11ページをご覧いただきたい。平成17年度、合併時に行財政改革大綱を、18年度に集中改革プランを策定し、これに基づ

いて、今説明した職員の適正化も進めてきた。東日本大震災もあり、職員数が一定程度必要だということで職員が増えたというところから、改めて職員適正化を積算すると事業の減少に伴って人が減っていくことの効果が現れすぎるということもあり、18年度に策定した集中改革プランでやって減ってきた職員数の定員からスタートするべきではないかということから、今回効果額を見直した。前回、金額がまだ確定せず、51ページの効果額一覧では合計で5億との記載をさせていただいていたが、今回金額がでてきたので、表示させていただいた。

委員： 52ページからのSDGsのゴールに関して、SDGs自体は2015年から、前の平成27年から令和2年までの行財政運営プランの中ではSDGsに取り組まれていたのか。

事務局： 市として取組を具体的に計画としてまとめたのが本年8月になるので前はそういった取組を位置づけることはなかった。

委員： 17のゴールに対しての取組の当てはまるかどうかの丸のチェック項目をもうちょっと捻った方が良いのではないかと。1つの項目に対して1つか、2つから3つ位まで丸がついているが、考え方、見方を変えればもっと当てはまるような項目も見受けられる。その辺の協議、時間があるか分からないが、SDGsの本質という部分でもうちょっと捉え方があるという気がする。

事務局： 17の目標、169のターゲットを当てはめていくと、ご指摘のとおり丸印がもっとも増える。増やすこともできますし、逆の解釈でいくと狭めて考えると丸が付かない項目も出てくるということで、SDGsの推進を担当している部署と協議させていただいて、主に関連性が整理できるものについて、今回は丸付けして整理させていただいたということで御理解をいただきたい。

委員： SDGsは捉え方で、市民の方たちも行政の方たちも、知っているようで知らないというか、非常に難しい部分だと思うので、まずはSDGsとは何ぞやというところから、もうちょっと市民にも広めるというか知ってもらうツールを増やすべきではないかと思う。特に石巻市というと規模的にも大きく、比較的栄えているところから極端な話、小さい集落まである市町村だと思っている。そういった部分での浸透は難しいという気はする。

事務局： その辺の周知、市民への浸透については、今年計画の採択を受けたということもあり、推進する部署については、令和3年度に入ると色々なセミナーや説明会を実施していく計画ですので、そういった中で少しずつだが浸透は図られていくと考えている。

委員： 市民の説明会が今後ある可能性がある。

- 事務局： セミナーとか色々やっていきたいと聞いております。
- 委員： 財政目標額を入れられている。単年度ごとに評価、検証されていく。どういう風にPDCAを回していくのか。
- 事務局： 16ページに記載している。具体なところは見えないが、毎年実績が出たら庁内で検証するような仕組みを取り入れ、今回のプランの中にもあるが、行政評価という取組も進めていくと定めているので、そういったものとの連動、関連性も整理しながら、市民目線での評価も入れながら目標に近づけていく、あるいは達成できるように毎年検証する形でやっていく必要があると考えている。
- 委員： 言う方は簡単だが、評価はどうだったかということと、どうするかということのセットだと思う。大変だと思うが、きちんと把握して足りない分はどうするのか上手くいったらなんで上手くいったのか、ぜひ把握してほしい。
- 事務局： 今回、財政効果の目標額、各種指標を定めたので評価点検という部分では比較検討しやすい。数字が達しなかった場合は、何が悪かったのかすぐに検証できると思う。点検評価をきちんとやっていきたいと考えている。

(2) その他

【質疑】なし

副委員長よりあいさつ

4 その他

今後のプラン策定の流れについて事務局より説明

財務部次長より御礼のあいさつ

会議傍聴者	
一般市民：0人	新聞記者：0人